

## 質問書

質問年月日	令和 8 年 7 月 8 日
質 問 1	<p>仕様書の「第 3 章 業務工程」および「第 4 章 成果品」において、年度ごとの作業と納入成果品が定められています。</p> <p>令和 8 年度：地域防災計画（時点修正）、業務継続計画（定量的弱部分析に基づくリスク評価・ボトルネック分析結果報告書）</p> <p>令和 9 年度：地域防災計画（最新内容を反映等、NIMS・ICS、復興事前準備指針）、業務継続計画（実働型 BCP）、受援・応援計画（WBS 連動部署別受援シート、LSA レイアウト図、B-PLo 連携手順など）</p> <p>令和 10 年度：各計画書（完成案）の最終取りまとめほか一方、提案において、業務工程と成果品（素案等）納入時期を見直した方が良くと考える場合があるかと思えます。</p> <p>以上のことから、「業務工程」と「成果品」について、仕様書とは異なる作業の進め方（工程）や成果品の納入時期を提案しても良いでしょうか。</p>
回 答 1	<p>作業工程や成果品の納入時期の提案につきまして、仕様書と異なる工程等の提案を妨げるものではありません。</p> <p>仕様書以上に有効な提案がある場合、追加提案書等への記載をお願いします。</p>
質 問 2	<p>仕様書の「第 4 章 成果品」において、令和 10 年度の成果品のひとつが、「計画書（本編、資料編、復興事前準備指針、概要版）（A4 判簡易製本）各 50 部」となっています。</p> <p>この成果品は、以下のような内容と考えて良いですか。</p> <p>①計画書（本編）50 部：地域防災計画、業務継続計画、受援・応援計画が一体となった計画</p> <p>②資料編 50 部：地域防災計画、業務継続計画、受援・応援計画に係る資料が一体となった冊子</p> <p>③復興事前準備指針 50 部：復興事前準備指針のみの成果品</p> <p>④概要版 50 部：地域防災計画、業務継続計画、受援・応援計画および復興事前準備指針が一体となった概要版</p> <p>また、上記の通りだとした場合でも、成果品の構成を見直して提案することは可能ですか。</p>

<p>回 答 2</p>	<p>お見込みのとおり、成果品の主な構成要素として「八雲町地域防災計画（本編・資料編・復興事前準備指針）」、「八雲町業務継続計画（BCP）」、「八雲町災害時受援・応援計画及び部署別受援シート」（仕様書第 31 条（1）より）を対象としています。</p> <p>本業務はこれらの計画間の整合性を極めて重視しており、統合的に運用できる形式であることが肝要であると思案しております。</p> <p>従いまして、質問 2 ①計画書（本編）～④概要版の解釈をベースとしつつ、「どの計画をどの冊子に合冊するかもしくは分冊するか」という具体的な製本仕様につきまして、業務進捗の中で、「最も理解しやすい構成」を協議のうえ決定したいと考えております。</p> <p>また、成果品の構成を見直す提案を妨げるものではありません。本業務の目的は、計画書を単に更新するのみではなく、災害時に「いつ、誰が、何をするか」を実行できる体制を構築することにあります。</p> <p>仕様書以上に有効な提案がある場合、追加提案書等への記載をお願いします。</p>
--------------	---